

## 令和7年度 第2回福井県長寿医療運営懇話会会議録

日 時 令和8年1月29日（木）午後2時00分～3時40分

場 所 福井県自治会館 2階 202.203研修室

出席者 坂口委員（会長）、廣部委員（副会長）、清水委員、宮川委員  
安川委員、大野屋委員、富士委員、天谷委員、上田委員  
竹下委員、松森委員  
（欠席）水上委員、大瀧委員

事務局 宮木局長 以下5名

### 1 事務局長あいさつ

### 2 協議・報告事項

（1）令和8・9年度保険料率改定について・・・・・・資料により事務局説明（局長）

（2）令和8年度当初予算概要について・・・・・・資料により事務局説明（局長）

### 3 その他

## 協議事項に対する質問・回答・意見

### (1) 令和 8・9 年度保険料率改定について

- 問 1  
【委員】
- ① 後期になぜ子ども・子育て支援金や出産育児支援金が入ってくるのか
  - ② 子育て支援まで高齢者が見るのか。出産はわかるが

答 1  
【事務局】

出産育児支援金は、これまでも全部の保険者が負担しており、若者世代が多い保険者が一時的に多くの金額を要する出産費に対して、全世代で公平に負担するもの。

子ども・子育て支援金は、全世代で支えないと今後若者が減り、後期高齢者を支えることができなくなることに鑑み、全部の保険者が子どもを産み育てやすい社会づくりの負担を担うということで今回から国が決めた制度。

税金は所得により取らないこともあるが、保険料はすべての人が負担することとなる。

- 問 2  
【委員】
- ① 保険料率は都道府県で違いがあるのか
  - ② 福井県は全国的に見て高いのか、低いのか

答 2  
【事務局】

- ① 各都道府県で違っている。一部の県で基金残高をほとんど残さないくらい繰り入れて保険料を下げているところがあるが、それではもし療養給付費が不足した場合に対応できないリスクがある。
- ② 速報値ではあるが、福井県の保険料は真ん中より少し低いが、保険料は真ん中より少し上くらいにいる。

問 3  
【会長】

保険料が上がることに就いてそれぞれの立場から御意見をお聞かせ願いたい

答 3-1  
【委員】

国保も県から標準税率を示されているため、それを考慮しながら決めていく。

答 3-2  
【委員】

シルバー人材センターの会員には配分金・賃金を支給している。最低賃金が少し上がったが、物価も保険料も上がるとなると苦しいという声がある。

答 3-3  
【委員】 年金暮らしだが（住んでいるところが）田舎なので野菜作りで収入がある。しかし、（周りの）ほとんどの人が年金暮らしのため年金は上がらないのに保険料が上がると苦しい。  
健康寿命は大切。老人には時間があるためボランティアなどの貢献寿命、そこから幸福寿命を延ばしていく。如何に健康で長生きするかを考えている。

問 4  
【会長】 予定収納率 99.5%は維持できるか

答 4  
【事務局】 基本は年金からの特別徴収なのでほとんど徴収できるが、75歳の年齢到達時は1年間普通徴収になるので若干下がる見込み。

問 5  
【委員】 ① 他県の保険料率の上げ幅が分かれば教えてほしい  
② 基金の状況はどうなっているか  
③ 子ども・子育て支援金が単年度計算になっているが、8年度から順にあげていく予定と考えて良いか

答 1  
【事務局】 ① 全国的には、均等割が数千円から10千円上がっているが、本県の5千円台はほぼ真ん中。所得割は下がっているところもある。1人当たり保険料の高いところで東京は127千円、青森は61千円となっている。  
② 基金については、昨年度30億超あったが、前回の保険料率改定時に15億円投入して率を据え置くこととした。実際には7～8億円の投入で済む見込みであり、結果、今年度の実質の基金残高は24億円を見込んでいる。ただし、年度末の資金需要に対し基金20億円を充てることとしており、帳簿上の残高は8億円となっている。  
③ 事業費の追加分の国からの支給は翌年度になれば交付されるが、運営上は時間差があるため残金がないと支払いができない仕組みになっている。  
④ きれいな階段式に上がるよう基金を入れた。

(2) 令和8年度当初予算概要について（質問なし）